

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2012-97244(P2012-97244A)

【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2010-271656(P2010-271656)

【国際特許分類】

C 08 K	5/42	(2006.01)
C 09 D	7/12	(2006.01)
C 09 D	5/00	(2006.01)
C 09 D	5/24	(2006.01)
C 09 D	4/00	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 K	3/16	(2006.01)
C 09 K	3/00	(2006.01)
C 07 C	211/63	(2006.01)
C 08 L	33/04	(2006.01)
C 08 K	5/17	(2006.01)
C 07 C	305/04	(2006.01)
C 07 C	233/09	(2006.01)

【F I】

C 08 K	5/42	
C 09 D	7/12	
C 09 D	5/00	Z
C 09 D	5/24	
C 09 D	4/00	
C 09 D	201/00	
C 09 K	3/16	1 0 4 C
C 09 K	3/16	1 0 8 D
C 09 K	3/00	R
C 07 C	211/63	
C 08 L	33/04	
C 08 K	5/17	
C 07 C	305/04	
C 07 C	233/09	A

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月13日(2013.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(I)で表される帶電防止剤である樹脂改質剤。

【化1】



(但し、式中、 $R^1$ は炭素数6～22の炭化水素基、 $B^+$ は重合性不飽和基を有するアンモニウムイオン( $C$ )を示す。)

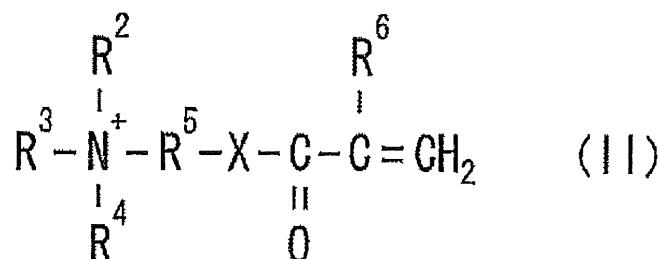
【請求項2】

活性エネルギー線硬化性を有する請求項1に記載の樹脂改質剤。

【請求項3】

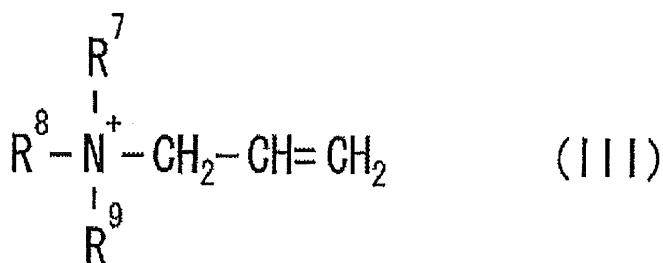
前記アンモニウムイオン( $C$ )が、下記式(I I)又は下記式(I I I)で表される請求項1又は2記載の活性エネルギー線硬化性を有する樹脂改質剤。

【化2】



(但し、式中、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ はそれぞれ独立して水素原子または炭素数1～8の炭化水素基、 $R^5$ は炭素数2～5のアルキレン基、 $R^6$ は水素原子またはメチル基、 $X$ はOまたはNHを示す。)

【化3】



(但し、式中、 $R^7$ 、 $R^8$ はそれぞれ独立して水素原子または炭素数1～8の炭化水素基、 $R^9$ は炭素数1～8の炭化水素基を示す。)

【請求項4】

請求項1～3いずれかに記載の樹脂改質剤と有機溶媒とを含むコーティング組成物。

【請求項5】

更に、活性エネルギー線の照射により反応し得る樹脂又は樹脂単量体を含む請求項4記載のコーティング組成物。

【請求項6】

更に、イオン液体を含む請求項4又は5記載のコーティング組成物。

【請求項7】

更に、導電性高分子を含む請求項4～6のいずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項8】

請求項4～7のいずれかに記載のコーティング組成物を基材にコーティングした後、活性エネルギー線を照射して、前記基材上にコーティング膜を形成するコーティング膜の製造方法。

【請求項9】

請求項 8 記載の製造方法により得られるコーティング膜。